

水稲用や園芸用の培土を製造する関東農産は、根が持つ力や土壌環境に着目し、微生物や改良資材を加え、土づくりに役立つ培土や肥料作り力を入れている。培土のスペシャリストの同社だが、コイン精米事業も展開。精米所で発生したぬかを回収し、有機質100%肥料を製造する資源リサイクルのネットワークをつくる。トマト「低段密植栽培システム」も開発し、販売を始めた。

水稲用の粒状培土を製造していたが、工場を新設し、園芸用培土事業を拡大した。水稲・園芸培土、有機質肥料、施設園芸栽培、精米の4事業が経営の柱だ。

水稲培土の主力商品は粒状タイプの「苗みどり」。那須山麓の良質な赤土を原料に、化成肥料の液肥を加えて製造する。2度焼成す

関東農産

(栃木)



地元の米ぬかなどで製造する有機質100%肥料「収多くん」(栃木県那須町で)

■会社概要＝1989年に創立。前身の会社から営業権を取得し、培土製造事業を継続してスタートした。
■本社＝栃木県那須町大字高久甲字道西2691の3、(電)0287(63)6213。

会社フォーカス

ぬか使い有機肥料 精米事業で確保

独自の技術で粒が崩れにくいのが特長。研究開発部の清水友佳理さんは「1年6回、製品検査し他社製品より崩れにくいことを確認している」と説明する。

赤土にピートモスやバークミキュライトを加えて軽くし、苗箱の持ち運びを楽にした「かろくん」、有機JAS対応「有機質育苗培土」などがある。

園芸培土も粘性が高い赤土と2度焼き技術を使い、透水性に優れた赤玉土を作り、肥料成分の流出が少なく、イゼオライトなどを混ぜ、気相、液相、固相のバランスを調整し根張りが良い製品を作る。セル成形苗対応播種(はしゅ)用苗みどりや「ねぎ専用培土(葱ねぎみどり)」、有機JAS対応「有機質育苗培土」などがある。

有機質100%肥料「収多くん(甘糖くん)」は、米ぬかを主原料に、バチルス菌を加え、発酵技術で有機質肥料に仕上げている。生薬系原料を使い有機JASに対応した「作守り(プロボカシ)」などをそろえる。多様な土壌微生物を大量に含み、継続して使うことで土壌病原菌の働きを抑えたり、連作障害を軽減できたりするとPRする。

自社開発の「低段密植栽培システム」は、土壌病害の拡大を防ぐ独立ポット式の養液栽培。ヤシ殻とゼオライトを原料に団粒構造の培地を作った。

精米事業は、栃木県を中心に群馬県、茨城県に約200台の精米機を設置。毎日ぬかを3台のトラックで回収し、「収多くん」の原料にする。営業部の眞鍋和裕部長は「全量を自前で調達している。資源循環を意識している」と強調する。

世界規模で猛威を振るう高病原性鳥インフルエンザ。家禽(かきん)での発生防止には、農場へのウイルスの侵入を防ぐことが重要だ。対策としては、ウイルスの運び役となる野鳥や野生動物を侵入

させない防鳥ネットや金網が基本になる。メーカー各社が販売する耐用年数や抗ウイルス加工、忌避成分利用など、特徴ある商品と、設置のポイントを紹介する。

鳥インフル対策 ネット・金網 注目の商品

野生動物 侵入防げ

忌避成分配合 寄せ付けられない

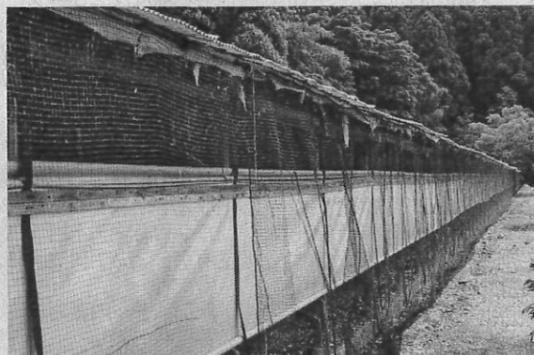
くればあ

ネットや金網を取り扱う、くればあは、表面にネ

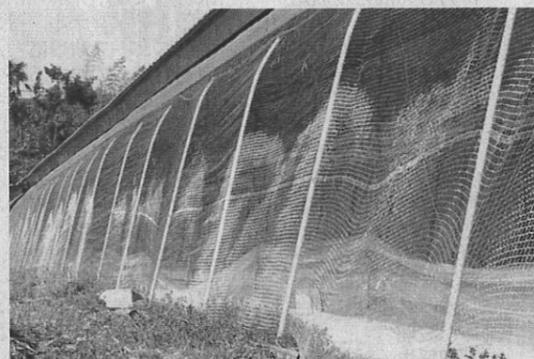
ズミなどが嫌うハーブの香り、辛味成分のカプサイシンを練り込んだ「ネズサル」を販売する。臭いによる忌避効果と、ネットをかじった時の辛味による刺激で小動物を撃退する。



くればあ「ネズサル」



第一製網の「フルテクトネット」



日本ワイドクロス「GR16」

目合い10mmで幅91cm、長さ30mの規格で9万9800円。お試用に長さ1m、8000円も用意する。問い合わせは、(電)0532(51)4151。

目ざれに強い ラッセル編み 日本ワイドクロス

日本ワイドクロスは、ポリエステル繊維に抗ウイルス剤を染み込ませたネット。ネットに付着したふんなどに含まれるウイルスの増殖を抑える効果がある。経口毒性や皮膚刺激性などの安全性を確認。抗ウイルス効果は3年以上持つという。目合いは18mm。価格は1平方メートルあたり1575円。問い合わせは、(電)0968(62)1161。

破損見落とし注意 設置後が大事

防鳥ネット・金網設置のチェックリスト

チェックポイント	鶏舎	飼料倉庫	鶏ふん処理施設
網目は20mm以下			

野鳥や野生動物重要なことは、設置する。農水省動物衛生見回り、破損を補修することと、トや金網を設置しただが、見回り、止の効果を持す係機関はチェック

ル編みにして、引っ張られても目ずれが起きにくい緑色のネット「GR16」を販売する。耐用年数は4、5

話題の商品

コンテナ運搬 補助スーツ

クボタ

クボタは、収穫コンテナを持ち上げる作業を、両肩のウインチワイヤで巻き上げて補助するアシストスーツ「WINN-1」を写真Ⅱを販売する。野菜や果樹の運搬作業を軽労化できる。

スーツは背負い式。両肩から前方に伸びたポールに「コの字型」の持ち手がワイヤでつながっている。持ち手は両手で操作。コンテナの両脇に引っ掛け、右手親指の位置



のボタンを押すと、ワイヤが巻き上げられ持ち上がる。最大20kgの力を、スーツが補助する。降ろすときは、左手親指のボタンを押す。

太ももと腰を曲げ伸ばす動きもスーツが補助するため、立ち上がるときは負担が少ない。巻き上げる力は3段階に変えられる。

価格は114万4800円。重さはバッテリーを除いて9.5kg。60分の充電で約200回使える。

業界トピック

子会社2社の肥料事業集約

住友化学

住友化学は、子会社の住友農産資材の肥料関連事業を、同じ子会社の住友アグロ製造に譲渡すると発表した。肥料事業の集約で、事業の合理化や品質向上につなげる。住友アグロ製造の肥料や農薬製造のノウハウや技術、人材を肥料製造に活用する。

7月をめどに、住友農産資材が愛媛県に持つ肥料工場を、住友アグロ製造に譲渡する予定。住友アグロ製造は、これまで肥料の受託製造をしており、7月から住友化学と連携し、研究・開発も担う。

住友農産資材は、かん水用資材や花き、種苗の研究、開発、製造に集中する。

同協会は、2017年に日本アンモニア協会と日本化成肥料会が合併して設立したメーカーなど20社、肥料やアンモニアの普及活動をす

21日業務開始 肥料アンモニア協会 日本肥料アンモニア協会

7月に日本アンモニア協会と日本化成肥料会が合併して設立したメーカーなど20社、肥料やアンモニアの普及活動をす

資材ナビ

る。問い合わせは、連商品営業部、(6048)2500

種もみ処理に 水稲用殺虫剤「キンドFS」を発売した。イネミムシに適用がある。前の種もみに処理するため、省力化が図れる。湛水(たんすい)田直播の直播(ち

